

食器の材質変更について

1 PEN食器の導入について

市立全小学校の給食における食器については、磁器食器導入から 20 年以上が経過し、多くの課題がある中、食器の見直しの検討を進め、全国的にも多くの学校給食で使用されている、軽くて割れにくく、安全性に優れたPEN食器（ポリエチレンナフタレート製の食器）を導入することとした。

2 経過

小学校給食における食器については平成 14 年度までに強化磁器食器を導入し、使用してきた。強化磁器食器は、一般家庭で使用されている陶磁器と類似しており、家庭に近い環境で給食を喫食できることや、口当たりが良く親しみやすいという利点がある一方で、割れやすく危険、重い、音が大きい等の課題があった。

食器の見直しの必要性が問われる中で、令和4年7月に各校で給食に使用する食器についてアンケートを実施したところ、磁器食器に肯定的、否定的、様々な意見があったが、磁器食器以外の食器の検討が必要であるとの意見結果となった。

令和5年度2学期から、古江台小学校にて、試行的にPEN食器を導入し、令和5年10月に教職員を対象に実施したアンケートではPEN食器の導入が望ましいとの結果を得たことも踏まえ、全小学校で年次的にPEN食器に切り替えていくこととした。

令和6年度2学期からは、配膳室から教室までの距離や校舎の構造等を勘案し、千里第二小学校、山田第一小学校及び山田第二小学校において、PEN食器に入れ替えを行った。

3 今後の予定

引き続き、配膳に時間を要する学校（ワゴンの手運びが混在している、配膳室から教室までの距離がある等）を優先とし、年次的に入れ替えを進めていく。

（導入予定）

年度	R5 (済)	R6 (済)	R7	R8	R9	R10	R11	R12	合計
購入数 (概数)	700	2,500	2,700	3,000	3,200	3,300	3,300	3,300	22,000